

国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業

見積参考資料

令和6年9月

国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分考慮して、設計、工事、維持管理、調整マネジメント等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

資料一覧

1. 見積参考資料（工事業務）
2. 見積参考資料（維持管理業務）

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道 5 号小樽花園第二電線共同溝 P F I 事業（工事業務）

北海道開発局
小樽開発建設部

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
路面覆工		式		1					
覆工板（特殊部） [夜間]	1000×3000×208 設置・撤去	m2		1,056		< 1 m2当り > 覆工板設置・撤去(覆工板設置面積700m2を超える) 作業区分=設置・撤去；ラフテレソクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレソクレーン賃料補正(実数入力)=1.23 無；	m 2	1	
覆工板受桁（特殊部） [夜間]	H300 設置・撤去	t		105.6		< 1 t当り > 覆工板受桁設置・撤去(覆工板設置面積700m2を超える) 作業区分=設置・撤去；ラフテレソクレーン賃料補正=標準以外；ラフテレソクレーン賃料補正(実数入力)=1.23 無；	t	1	
覆工板設置・撤去[電線共同溝] (特殊部) [夜間]	1000×3000×208	m2		5,280		< 1 m2当り > 覆工板設置・撤去	m 2	1	
覆工板賃料（特殊部）	1000×3000×208 賃料月数13.5月 N =44回 修理費及び 損耗費含む	m2		24		< 1 m2当り > 覆工板賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製 補強型)；供用月数(実数入力)=13.5 月；継続工事の有無=無；修理費及び損耗費の計上=有；一現場での使用回数(実数入力)=44 回；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称		単 位	数 量
覆工板受桁 覆工鋼材賃料（特殊部）	H300×300×10×15 賃料日数405日 N=44回 修理費及び損耗費含む	t		2.4		< 1 t当り > 山留材賃料 火打ブロックの有無=無； 供用日数(実数入力)=405 日； 継続工事の有無=無； 主部材修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(A)の修理費及び損耗費の計上=無； 副部材(B)の修理費及び損耗費の計上=無； 山留材の一現場での使用回数(実数入力)=44 回/現場；		t	1
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) [夜間]	II型	m		617		< 1 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去		m	1
軽量鋼矢板賃料	II型 H=2.0m 賃料日数207日 修理費及び損耗費含む	t		1.6		< 1 t当り > 軽量鋼矢板賃料 II型 H=2.0m 181～360日 軽量鋼矢板修理費及び損耗費 整備費 補助工法無		t・日 t	207 2.75
軽量鋼矢板賃料	II型 H=2.5m 賃料日数207日 修理費及び損耗費含む	t		2.1		< 1 t当り > 軽量鋼矢板賃料 II型 H=2.5m 181～360日 軽量鋼矢板修理費及び損耗費 整備費 補助工法無		t・日 t	207 2.75
切梁・腹起し (特殊部) [夜間]	設置・撤去	t		102.9		< 1 t当り > 切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置・撤去； 火打ブロックの有無=無； ラフレックレン賃料補正=標準以外； ラフレックレン賃料補正(実数入力)=1.23 無；		t	1
切梁・腹起し賃料	H-300 賃料日数405日 N=44回 修理費及び損耗費含む	t		1.2		< 1 t当り > 山留材賃料 火打ブロックの有無=無； 供用日数(実数入力)=405 日； 継続工事の有無=無； 主部材修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(A)の修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(B)の修理費及び損耗費の計上=有； 山留材の一現場での使用回数(実数入力)=44 回/現場；		t	1

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し賃料	H-200 賃料日数405日 N=44回 修理費及び損耗費含む	t		0.7		< 1 t当り > 山留材賃料 火打ブロックの有無=無； 供用日数(実数入力)=405 日； 継続工事の有無=無； 主部材修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(A)の修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(B)の修理費及び損耗費の計上=有； 山留材の一現場での使用回数(実数入力)=44 回/現場；	t	1	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員 [夜間]	A	人日		1,028		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員 [夜間]	B 交替要員含む	人日		3,084		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					
殻運搬 (電線共同溝) [夜間]	アスファルト殻 DID有 L=10.5km以下 舗装版厚15cm以下	m3		320		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下；	m 3	1	
殻運搬 (電線共同溝) [夜間]	アスファルト殻 DID有 L=10.5km以下 舗装版厚15cm超	m3		951		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下；	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻処分 [夜間]	アスファルト殻	t		2,922		< 1 t当り > 処分費（t）	t	1	
舗装版切断 [夜間]	アスファルト舗装版 15cm以下	m		3,700		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版切断 [夜間]	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m		9,470		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破碎 （電線共同溝）[夜間]	アスファルト 15cm以下	m2		4,670		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込（電線共同溝工）	m 2	1	
舗装版破碎 （電線共同溝）[夜間]	アスファルト 15cmを超え35cm以下	m2		3,670		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cmを超え35cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
仮路盤撤去 [夜間]	Su0.28m3	m3		500		< 1 m3当り > 掘削 土質=土砂；施工方法=上記以外（小規模）；施工数量=小規模（標準）；	m 3	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削 （電線共同溝）[夜間]	土砂	m3		6,200		< 1 m3当り > 床掘り（電線共同溝工）	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
土砂等運搬 （電線共同溝）[夜間]	土砂 DID有 L=6.0 km以下 現場～土 砂仮置場	m3		6,220		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1	
整地 [夜間]	残土受け入れ地での 処理	m3		6,200		< 1 m3当り > 整地 作業区分=残土受け入れ地での処理；	m 3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締め （電線共同溝）[夜間]	土砂	m3		330		< 1 m3当り > 埋戻し・締め（電線共同溝工） 土質=土砂；	m 3	1	
埋戻し・締め （電線共同溝）[夜間]	中埋砂	m3		2,600		< 1 m3当り > 埋戻し・締め（電線共同溝工） 土質=中埋砂；	m 3	1	
積込(ルーズ) [夜間]	土砂 土量50,000m 3未満	m3		370		< 1 m3当り > 積込（ルーズ） 土質=土砂；作業内容=土量50,000m3未満；	m 3	1	
土砂等運搬 [夜間]	土砂(岩塊・玉石混 り土含む) Su0.8m 3 DID有 L=5.0km 以下 土砂仮置場 ～現場	m3		370		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0 .8m3(平積0.6m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む) ；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有) =5.0km以下；	m 3	1	
残土処理工		式		1					
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m 3未満	m3		5,400		< 1 m3当り > 積込（ルーズ） 土質=土砂；作業内容=土量50,000m3未満；	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む) Su0.8m3 DID有 L=11.0km以下 土砂仮置場～処分場	m3		5,390		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=11.0km以下;	m3	1	
残土等処分	建設発生土	t		10,790		< 1 t当り > 処分費(t)	t	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路直管 [夜間]	RR-VE 径 54mm	m		5,341		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路直管 [夜間]	RR-VE 径 82mm	m		6,669		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路直管 [夜間]	角型FEP(難燃性) 径 100mm	m		1,638		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路直管 [夜間]	角型FEP(難燃性) 径 130mm	m		12,923		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路直管 [夜間]	7リ-アクセス-V管 径 150mm	m		1,393		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 直管 [夜間]	P-V 径 50mm	m		286		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 直管 [夜間]	P-V 径 75mm	m		416		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 直管 [夜間] 【施工見積】	MCCP(PLC) 径 80mm	m		39		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 MCCP(PLC) 径80mm 直管 電力ケーブル管 MCCP (PLC) 80A直管ユニ ット付 北電仕様	m	1	
埋設管路 直管 [夜間] 【施工見積】	MCCP(PLC) 径 100mm	m		39		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 MCCP(PLC) 径100mm 直管 電力ケーブル管 MCCP (PLC) 100A直管ユニ ット付北電仕様	m	1	
埋設管路 直管 [夜間] 【施工見積】	MCCP(PLC) 径 125mm	m		358		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 MCCP(PLC) 径125mm 直管 電力ケーブル管 MCCP (PLC) 125A直管ユニ ット付北電仕様	m	1.05	
埋設管路 直管 [夜間] 【施工見積】	PLP-P2S 径 80mm	m		189		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 PLP-P2S 径80mm 直管 電力ケーブル管 PLP-P2S管 80A 直管 差込継手付	m	1	
埋設管路 直管 [夜間] 【施工見積】	PLP-P2S 径 125mm	m		403		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 PLP-P2S 径125mm 直管 電力ケーブル管 PLP-P2S管 125A 直管 差込継手付	m	1.05	
埋設管路 立上曲管 [夜間] 【施工見積】	PLP-P2S R=1.6m 径 80mm	m		20		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 PLP-P2S R=1.6m 径80mm 立上 曲管 PLP-P2S管 ユニ ット付 80A×5,500mm(北電仕様) 曲げ 加工別途	m	1	
							m	1.05	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
埋設管路 立上曲管〔夜間〕 【施工見積】	PLP-P2S R=1.6m 径 100mm	m		20		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 PLP-P2S R=1.6m 径100mm 立上曲管 PLP-P2S管 ユニゾイント付 100A×5, 500mm(北電仕様) 曲げ加工別途	m	1	m	1.05
埋設管路 立上曲管〔夜間〕 【施工見積】	PLP-P2S R=1.6m 径 125mm	m		255		< 1 m当り > 埋設管路【施工見積】 PLP-P2S R=1.6m 径125mm 立上曲管 PLP-P2S管 ユニゾイント付 125A×5, 500mm(北電仕様) 曲げ加工別途	m	1	m	1.05
埋設管路 立上曲管〔夜間〕	RR-VE R=1.0m 径 54mm	m		29		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 立上曲管〔夜間〕	UC-PS 径 50mm	m		113		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
埋設管路 立上曲管〔夜間〕	UC-PS 径 75mm	m		120		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1		
露出管路 立上直管〔夜間〕 【施工見積】	PEライニング鋼管 径 54mm	m		41		< 1 m当り > 露出管路【施工見積】 PEライニング鋼管 径54mm 立上直管 ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管 ポリエチレンライニング 54mm	m	1	m	1.05
露出管路 立上直管〔夜間〕 【施工見積】	SGP管 径 80mm	m		21		< 1 m当り > 露出管路【施工見積】 SGP管 径80mm 立上直管 SGP管 80A 直管 北電仕様	m	1	m	1.05
露出管路 立上直管〔夜間〕 【施工見積】	SGP管 径 100mm	m		21		< 1 m当り > 露出管路【施工見積】 SGP管 径100mm 立上直管 SGP管 100A 直管 北電仕様	m	1	m	1.05
露出管路 立上直管〔夜間〕 【施工見積】	SGP管 径 125mm	m		279		< 1 m当り > 露出管路【施工見積】 SGP管 径125mm 立上直管 SGP管 125A 直管 北電仕様	m	1	m	1.05

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
共用FA分岐管（材料費）	φ150×φ75	個		55		< 1 個当たり > 共用FA分岐管 φ150×φ75	個	1	
引込分散継手（材料費）	PV75/PV50×2+PV25×2	個		55		< 1 個当たり > 引込分散継手 PV75/PV50×2+PV25×2	個	1	
鋼管曲げ加工 [夜間] 【施工見積】	PLP 80A R=1.6m	箇所		23		< 1 箇所当たり > 鋼管曲げ加工【施工見積】 80A R=1.6m	箇所	1	
鋼管曲げ加工 [夜間] 【施工見積】	PLP 100A R=1.6m	箇所		23		< 1 箇所当たり > 鋼管曲げ加工【施工見積】 100A R=1.6m	箇所	1	
鋼管曲げ加工 [夜間] 【施工見積】	PLP 125A R=1.6m	箇所		211		< 1 箇所当たり > 鋼管曲げ加工【施工見積】 125A R=1.6m	箇所	1	
ダクトスリーブ（材料費） （通信管）	RR-VE 径 54mm	個		204		< 1 個当たり > 通信ケーブル管 RR-VE 呼径54 ダクトスリーブI型	個	1	
ダクトスリーブ（材料費） （通信管）	RR-VE 径 82mm	個		260		< 1 個当たり > 通信ケーブル管 RR-VE 呼径82 ダクトスリーブI型	個	1	
ダクトスリーブ（材料費） （通信管）	VP管 径 150mm	個		46		< 1 個当たり > フリーアクセス-V管 ダクトスリーブ φ150	個	1	
ロンクベルマウス（材料費）	角型FEP(難燃性) 径 130mm	個		258		< 1 個当たり > ロンクベルマウス 角型FEP(難燃性) φ130	個	1	
防水栓（材料費）	φ54（φ50,50A用）	個		204		< 1 個当たり > 防水栓 呼径54	個	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
防水栓（材料費）	φ82（φ75用）	個		260		< 1 個当たり > 防水栓 呼径82	個	1	
防水栓（材料費）	φ130（125A用）	個		258		< 1 個当たり > 防水栓 呼径130	個	1	
防水栓（材料費）	φ150	個		46		< 1 個当たり > 防水栓 φ150	個	1	
管路受台（材料費）	径 54mm（50A）	個		5,606		< 1 個当たり > 管路受台 呼径54	個	1	
管路受台（材料費）	径 82mm（80A）	個		6,148		< 1 個当たり > 管路受台 呼径82	個	1	
管路受台（材料費）	径 130mm（125A）	個		374		< 1 個当たり > 管路受台 呼径130	個	1	
管路受台（材料費）	径 150mm	個		852		< 1 個当たり > 管路受台 φ150×P220 1A	個	1	
異種管継手（材料費）	RRVE φ54～PE7インチ鋼管 φ50	個		16		< 1 個当たり > 異種管継手 VE φ54～PLP50A	個	1	
異種管継手（材料費）	PL-PS φ50～PV φ50	個		23		< 1 個当たり > 異種管継手 P-V φ50～UC-PS50AD継手（連系立上げ）	個	1	
異種管継手（材料費）	PL-PS φ75～PV φ75	個		23		< 1 個当たり > 異種管継手 P-V φ75～UC-PS75AD継手（連系立上げ）	個	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
異種管継手（材料費）	角型FEPφ100～PLC100A	個		8		< 1 個当り > 異種管継手 角型FEPφ100～PLC100A	個	1	
異種管継手（材料費）	角型FEPφ130～PLC125A	個		38		< 1 個当り > 異種管継手 角型FEPφ130～PLC125A	個	1	
異種管継手（材料費）	PLC80A～PLP-P2S80A ユニゾイント	個		8		< 1 個当り > 異種管継手 PLC80A PLP-P2S80A ユニゾイント	個	1	
異種管継手（材料費）	PLC125A～PLP-P2S125A ユニゾイント	個		16		< 1 個当り > 異種管継手 PLC125A～PLP-P2S125A ユニゾイント	個	1	
異種管継手（材料費）	PLP-P2S80A～SGP80A ユニゾイント	個		8		< 1 個当り > 異種管継手 PLP-P2S80A～SGP80A ユニゾイント	個	1	
異種管継手（材料費）	PLP-P2S100A～SGP100A ユニゾイント	個		8		< 1 個当り > 異種管継手 PLP-P2S100A～SGP100A ユニゾイント	個	1	
異種管継手（材料費）	PLP-P2S125A～SGP125A ユニゾイント	個		101		< 1 個当り > 異種管継手 PLP-P2S125A～SGP125A ユニゾイント	個	1	
支持バンド（材料費）	IBT-415 電力系連系立上	個		47		< 1 個当り > 支持バンド IBT415	個	1	
自在バンド（材料費）	IBT-315 通信系連系立上	個		78		< 1 個当り > 自在バンド IBT-315	個	1	
立上キャップ（材料費）	φ50	個		39		< 1 個当り > 立上キャップ φ50	個	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
立上キャップ（材料費）	φ82	個		31		< 1 個当り > 立上キャップ φ82	個	1	
立上キャップ（材料費）	φ100	個		8		< 1 個当り > 立上キャップ φ100	個	1	
立上キャップ（材料費）	φ125	個		101		< 1 個当り > 立上キャップ φ125	個	1	
埋設標識シート（材料費）	W=300 2倍 水抜き 穴3孔	m		1,900		< 1 m当り > 埋設標識シート W=300 2倍 ポリエチレンク ロス水抜き穴3孔	m	1.02	
埋設標識シート（材料費）	W=400 2倍 水抜き 穴5孔	m		884		< 1 m当り > 埋設標識シート 400mm幅（水抜き孔5孔）2倍	m	1.02	
埋設標識シート（材料費）	W=600 2倍 水抜き 穴7孔	m		2,873		< 1 m当り > 埋設標識シート 600mm幅（水抜き孔7孔）2倍	m	1.02	
埋設標識シート（材料費）	W=150 2倍 水抜き 穴無 電力シート	m		418		< 1 m当り > 埋設標識シート W=150 2倍 水抜き穴無 電力・通信用	m	1.02	
埋設標識シート（材料費）	W=400 2倍 水抜き 穴無 NTTシート	m		161		< 1 m当り > 埋設標識シート W=400 2倍 水抜き穴無 電力・通信用	m	1.02	
埋設標識シート（材料費）	W=150 2倍 水抜き 穴無 通信シート	m		211		< 1 m当り > 埋設標識シート W=150 2倍 水抜き穴無 電力・通信用	m	1.02	
プレキャストボックス工（特殊部）		式		1					

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス [夜間]	電力地上機器樹 W 1000×H1800×L34 00 函型 ベース 版・附属品含む	個		5		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.23 無； 電力地上機器樹 W1.00×H1.80×L3.40 B 函型 ベース板 ・附属品含む 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類= 砕石(各種)；費用の内訳=全ての費用；	個	2	
							個	2	
						個	3		
						基	1		
						m 2	5.85		

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事				
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項					
						名称	単位	数量			
プレキャストボックス [夜間]	通信接続枠 W1200 ×H1500×L3000 門型 ベース版・ 附属品含む	個		22		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無；				個	2
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.23 無；				個	2
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無；				個	2
						通信接続枠 W1.20×H1.50×L3.00 A 門型 ベース板・付 属品含む 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類= 砕石(各種)；費用の内訳=全ての費用；				基 m ²	1 7.03
プレキャストボックス [夜間]	蓋部中間枠 φ750 H=450	個		44		< 1 個当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； 蓋部中間枠 φ750 H=450				組	1
プレキャストボックス [夜間]	地上機器中間枠 W 550×L1900 H=700	個		22		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無；				個	1
蓋金物（材料費）	φ750 T-14 二重ロ ック構造 開発局ロコ 入り 受枠含む	組		44		< 1 組当り > マンホール蓋 T-14 φ750 二重ロック構造 開発局ロコ入り 受 枠含む				枚	1

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
蓋金物（材料費）	600×1200 T-14 二重ロック構造 開発局 局コッ入り 受枠含 む HH譲渡	組		36		< 1 組当り > 分岐樹蓋 600×1200用 T-14 二重ロック構造 開発局コッ 入り 受枠含む	組	1	
管路表示板（材料費）	t=3mm A4版 アクリル 製 0.279mm×0.21 0mm	枚		88		< 1 枚当り > ケーブル収容表示板 t=3mm A4版 アクリル製 0.279mm×0.210 mm	枚	1	
舗装工		式		1					
アスファルト舗装工 （仮復旧）		式		1					
下層路盤(車道・路肩部) [夜間]	再生骨材40mm級 仕上り厚 170mm	m2		2,950		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=170 mm；施工区分=1層施工； 材料=路盤材(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) [夜間]	再生アスファルト安定処 理 仕上り厚 50m m 1.4m未満 プライ ムコート	m2		2,960		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平 均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm 以下)(実数入力)=50 mm；瀝青材料種類=プライムコート P K-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道・路肩部) [夜間]	再生密粒度アスコン 舗装厚 40mm 1. 4m未満 タックコート	m2		2,960		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種 類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
アスファルト舗装工 （本復旧）		式		1					

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(車道・路肩部) [夜間]	再生骨材40mm級 仕上り厚 550mm	m2		3,020		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=550 mm；施工区分=3層施工； 材料=路盤材(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
下層路盤(歩道部) [夜間]	再生骨材40mm級 仕上り厚 270mm	m2		1,650		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=270 mm；施工区分=2層施工； 材料=路盤材(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) [夜間]	再生アスファルト安定処 理 仕上り厚 60m m 1.4m以上3.0m 以下 フライコート	m2		3,180		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m以上3.0m以下； 1層当り平均仕上り厚(100mm以下)(実数入力)=60 mm ；瀝青材料種類=フライコート PK-3；費用の内訳=全ての 費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) [夜間]	再生アスファルト安定処 理 仕上り厚 60m m 1.4m未満 フライ ムコート	m2		477		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平 均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕 上り厚(50mm超100mm以下)(実=60 mm；瀝青材料種類 =フライコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) [夜間]	再生アスファルト安定処 理 仕上り厚 60m m 1.4m以上3.0m 以下 タックコート	m2		3,180		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m以上3.0m以下； 1層当り平均仕上り厚(100mm以下)(実数入力)=60 mm ；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての 費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) [夜間]	再生アスファルト安定処 理 仕上り厚 60m m 1.4m未満 タック コート	m2		477		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平 均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕 上り厚(50mm超100mm以下)(実=60 mm；瀝青材料種類 =タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部) [夜間]	再生粗粒度アスコン 舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m以下 タックコート	m2		3,180		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
基層(車道・路肩部) [夜間]	再生粗粒度アスコン 舗装厚 50mm 1.4m未満 タックコート	m2		477		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
中間層(車道・路肩部) [夜間]	再生粗粒度アスコン 舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m以下 タックコート	m2		3,180		< 1 m2当り > 中間層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
中間層(車道・路肩部) [夜間]	再生粗粒度アスコン 舗装厚 50mm 1.4m未満 タックコート	m2		488		< 1 m2当り > 中間層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道・路肩部) [夜間]	再生密粒度アスコン 舗装厚 40mm 1.4m以上3.0m以下 タックコート	m2		3,180		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(車道・路肩部) [夜間]	再生密粒度アスコン 舗装厚 40mm 1.4m未満 タックコート	m2		488		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
仮設材運搬費	軽量鋼矢板Ⅱ型 L=60kmまで 往復積込み, 取卸し含む	t		3.7		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州; 片道運搬距離(実数入力)=51 km; 製品長区分=12m以内; 運搬割増率=各種(実数入力); 運搬割増率(実数入力)=0 無; その他の諸料金の有無=無; 仮設材等の積込み, 取卸し費 作業区分=積込み, 取卸し(往復分);	t	2	
							t	1	

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
仮設材運搬費	H形鋼, 覆工板 L=50kmまで 往復 積み, 取卸し含む	t		9.1		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=50 km；製品長区分=12m以内； 運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積み, 取卸し費 作業区分=積み, 取卸し(往復分)；	t	2
技術管理費		式		1				
道路施設基本データ作成費		式		1		技術員	人	1.75
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地		
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）- 1； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2日（閉所）4週8休以上（月単位）		
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）- 1； 積雪寒冷地域区分=2級地；緊急工事補正=しない； 砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない； 週休2日の補正=週休2日（閉所）4週8休以上（月単位）		
工事原価		式		1				

見積参考資料

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導警備員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分7 間接労務費対象労務費	○：該当する管理費区分が含まれている						
工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）		事業区分	共同溝・電線共同溝		
	細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
	殻処分 [夜間]	アスファルト殻	t	2,922	○					
	残土等処分		t	10,790	○					

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（工事業務）	（当初）	主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称		積 算 条 件		
		補 正 項 目	条 件	
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DIDD補正）（1）-1 補正する 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 週休2日（閉所）4週8休以上（月単位）		

《積算条件資料》

工事名 国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業(工事業務)

▼積算上の工期について

積算期間: 令和9年4月1日～令和16年3月31日 2557日(冬期日数 1059日)

▼労務調整について

【工事数量総括表に夜間と記載のある工種】

作業時間	夜間作業(21時～6時)	労務調整
8時間	内 8時間	1.5

※請負工事に係わる「見積参考資料」の取扱い

「見積参考資料」は、発注者が予定価格の積算に使用した条件等であり、請負契約上拘束する物ではない。

見積参考資料

特別調査・見積り活用を行った単価項目について									
名 称	形 状 寸 法	単 位	単価内容	単 価 策 定 方 法				公 表 非公表 など	備 考
				特別調査	見積り	見積り 入札方式	その他		
砂	【ゾーン①小樽市】	m ³	材料費のみ	○				参考単価	4,000円
PLP-P2S管	エッジoint付 80A×5,500mm (北電仕様) 曲げ加工別途	m	材料費のみ		○			参考単価	16,600円
PLP-P2S管	エッジoint付 100A×5,500mm (北電仕様) 曲げ加工別途	m	材料費のみ		○			参考単価	19,400円
PLP-P2S管	エッジoint付 125A×5,500mm (北電仕様) 曲げ加工別途	m	材料費のみ	○				参考単価	20,700円
ロングヘルマクス	角型FEP(難燃性) φ130	個	材料費のみ	○				参考単価	3,380円
異種管継手	角型FEP φ100~PLC100A	個	材料費のみ		○			参考単価	35,500円
異種管継手	角型FEP φ130~PLC125A	個	材料費のみ	○				参考単価	25,000円
通信接続樹	W1.20×H1.50×L3.00 A 門型 ベース板・付属品含む	基	材料費のみ	○				公 表	
分岐樹蓋 600×1200用	T-14 二重ロック構造 開発局ロー入り 受枠含む	組	材料費のみ	○				公 表	
副部材 (A)	H200 賃料	t・日	賃料	○				参考単価	220円
鋼製山留材 H200整備費	主部材	t	賃料		○			参考単価	6,500円
鋼製山留材(賃料) 整備費	部品 H200	t	賃料		○			参考単価	13,000円
鋼製山留材(賃料) 不足弁償金	部品 H200	t	賃料	○				参考単価	304,000円

【注意事項】

- 特別調査により策定した単価において、“公表”とある場合は、以下のアドレスの小樽開発建設部ホームページに掲載し公表する。
<http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/gijyutu/ad7hk900000006em.html>
- “非公表”とある場合は、策定した単価の公表は行わない。
- 備考欄に金額を記載している場合は、参考値であり、当該工事に限り有効である。
- 上記内容に関する質問は、電子入札システムにより提出すること。ただし、小樽開発建設部長の承諾を得た場合は、紙を持参することにより提出するものとする。

見 積 参 考 資 料

業 務 名 国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（維持管理業務）

北海道開発局
小樽開発建設部

見積参考資料

業務名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（維持管理業務）（当初）					事業区分	電気通信施設点検		
						業務区分	点検業務		
費目・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
点検業務		式		1					
直接費		式		1					
労務費		式		1					
総合・個別点検(12ヶ月点検)		回		15		< 1 回当たり > (個別) 低圧設備 点検周期=12ヶ月; 旅費交通費区分=率計上; 乗算補正=なし; マンホール(ハンドホール)=あり;	ヶ所	44	
直接経費		式		1					
旅費交通費（率を用いた積算）		式		1		旅費交通費（率分）	式	1	
安全費		式		1		安全費（率分）	式	1	
技術管理費		式		1					
技術管理費		式		1		技術管理費（率分）	式	1	
諸経費		式		1					

見積参考資料

業務名	国道5号小樽花園第二電線共同溝PFI事業（維持管理業務）（当初）					事業区分	電気通信施設点検		
						業務区分	点検業務		
費目・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
諸経費		式		1					
業務価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
業務費計		式		1					